

日本女性会議2021in甲府レガシー検討事業【山梨県甲府市】

総事業費	445 千円
交付金額	211 千円

地域の実情と課題

女性の声が反映したまちづくり
 ⇒女性をはじめとする様々な年代や立場の方とのさらなる対話と参画による、まちづくりの実践

目的・目標

女性達が活躍する場の提供
 ・こうふまちづくりラウンジの開催
 ⇒女性の声を活かしたさらなる対話と参画による、まちづくりの実践
 (目標値:ラウンジ女性参加数・事業提言数)

事業の特徴

「日本女性会議」で構築されたネットワークを活用し、大会で洗い出された課題を解決するため、市民と連携しながら地域活性化や活動の活発化に繋がる事業を検討する「こうふまちづくりラウンジ」及び「(仮称)日本女性会議2021in甲府レガシー検討委員会」を開催し、市民の声を事業に直結させ、市民と産学官が協働するネットワーク強化を図るとともに、女性達や学生の政治参画への意欲を醸成する。

連携団体

- ・日本女性会議の大会運営に携わった女性、団体等(女性団体、県内大学、商工会議所、企業等)
- ・山梨県、山梨県立男女参画推進センター 等

事業の効果

まちづくりラウンジ委員の積極的な意見交換により、5つの効果的な提案をまとめることができた。
 また、関係部局と検討及び協議の場を設け、市全体に共有を図ることにより具現化を見据えた提案にまとめることができた。

- ・ラウンジおよび検討会の開催 12回(アウトプット)
- ・事業提言数 5件(アウトプット)
- ・ラウンジ及び検討委員会等への女性参加数 のべ 73人(アウトカム)

今後の課題

まちづくりラウンジからの提案を、どのように事業として具現化し、課題がどのように解決されたかを検証するため、その結果まで踏まえた進捗管理が必要である。

事業の概要

日本女性会議2021in甲府レガシー検討事業

女性の活躍は、女性が暮らしやすい社会の実現はもとより、少子高齢化や人口減少により経済活動や地域活力の低下が懸念される中であって、労働力の量的拡大のみならず、女性の視点を取り入れた多様な価値観や創意工夫を生み出し、市全体の活力向上に繋がる原動力となるものであり、本市においても、市民がその個性と能力を十分発揮することができるよう、取り組むことが求められている。こうした中、本市では、これまで、市民の市政への参画や市民ニーズの把握に努めてきたが、社会情勢が変化し、行政課題が増加する今日においては、女性をはじめとする様々な年代や立場の方とのさらなる対話と参画による、まちづくりの実践が重要となっている。

そこで、昨年開催された日本女性会議2021in甲府大会で洗い出された課題や取り組みを今後の事業等に反映させるため、大会に関係した団体、企業、大学等に属する女性で構成する「こうふまちづくりラウンジ」を開催し、日本女性会議2021in甲府レガシー事業として、課題や取り組み等の事業化へ向けた検討を重ね、大会を一過性のものとせず、大会の成果として、市民が求める効果的な事業の予算化に繋げるための提案を行った。

「こうふまちづくりラウンジ」にて提案された意見は、議会形式で市長及び当局に提言することで、女性達の政治参画の意欲を醸成するとともに、日本女性会議で構築された、市民と産学官が協働するネットワーク強化を図った。